

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)

【公開番号】特開 2008-273737 (P2008-273737A)
 【公開日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-045
 【出願番号】特願 2008-103604 (P2008-103604)
 【国際特許分類】

B 6 5 G 47/90 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 47/90 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 8 日 (2011.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バッテリープレート積層体からバッテリープレートを直線状に配置する装置において、
 バッテリープレート積層体を受け取るための、かつ、その後で、2 つの互いに平行である概ね水平な平面の間に位置している基準領域内に前記バッテリープレート積層体中の一番上のプレートを使用時に保持するように前記バッテリープレート積層体を上昇させるための昇降装置と、

前記一番上のプレートを拾い上げてその後で前記プレートを解放位置に解放するために、基準範囲の上部平面からの固定された間隔を伴って、前記昇降装置の上方を逐次的に通過するための、閉ループ状に配置されている複数の真空ヘッドとを有し、

それぞれに前記真空ヘッドを構成する複数の互いに間隔を置いて配置されている穴あき部分を有するエンドレス水平ベルトと、

前記バッテリープレート積層体から前記一番上のプレートを持ち上げる働きをするための、前記基準領域に隣接して配置されている真空チャンバと、

前記真空チャンバの上方を前記穴あき部分が逐次的に通過するように前記エンドレス水平ベルトを回転させるためのモータとを有する、装置。

【請求項 2】

前記真空チャンバは、前記穴あき部分が上を通過する開放壁又は穴あき壁を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記真空チャンバが負圧にあるか否かを決定するための弁をさらに有する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ベルトの移動方向において互いに間隔を置いて配置されている少なくとも 2 つの昇降装置と、前記昇降装置の各々に関連付けられている真空チャンバとを有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 5】

前記ベルトがその周りを通過する本体を有し、前記本体は 2 つの組の真空チャンバを画定し、前記 2 つの組の中の第 1 の組が 1 つ又は複数の第 1 の上述の真空チャンバを有し、前記 2 つの組の中の第 2 の組が、基準領域から前記解放位置への連続した真空経路を前記

第 1 の組と共に実現するための 1 つ又は複数のチャンバを有する、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 6】

切り替え可能な真空チャンバを前記解放位置においてさらに有する、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の装置。